



湾岸・アラビア半島地域ニュース

オマーン：2006年の非石油製品輸出実績 (7月25日付現地紙)

1. オマーン中央銀行の報告によると、2006年度のオマーンの非石油製品輸出相手国の上位を UAE とインドが占め、両国の合計は全非石油製品輸出の 55% に上った。
2. 2006年の UAE への非石油製品輸出は、LPG 及びケーブルの輸出増加に伴い前年比 65% もの大幅増加を見せ、UAE が全非石油製品輸出に占める割合は、2005年の 34.5% から 39.5% に増大した。
3. インドは、2005年から UAE に次ぐ第 2 位の非石油製品輸出相手国として頭角を現している。インドが占める割合は、オマーン・インド化学肥料会社 (OMIFCO) による対インド輸出の増加に伴い、2005年の 12.7% から 15.3% に増大した。
4. 米国への非石油製品輸出は、2 国間 FTA の実施に伴い増加が予想されていたが、実際には、米国の占める割合は、2005年の 7.6% から僅か 1.9% へと減少した。
5. 他の先進諸国への非石油製品輸出は、ユーロ圏及び英国等でドル高が継続している影響で大きな増加は見られなかった。又、その他諸国との関係でも、長引くドル安に便乗したメリットも見られなかった。
6. オマーンの非石油製品輸出の 2006 年成長率は 43.6% で、中央銀行によれば、2006 年のマクロ経済成長は非石油輸出の増加に一部起因すると同時に、非石油製品輸出は過去 3 年連続して 30% 以上成長しており、一時的な成長ではないと分析している。
7. 2006 年の非石油製品輸出成長は、主にケーブル、パイプ、鉄・鉄鋼製品、LPG 等鉱物製品の輸出増加に起因している。続いて OMIFCO の輸出開始に伴い、2005 年には 218.6% 成長を達成した化学薬品及び関連製品の輸出が今年には更に 55.5% 増加し、非石油製品全体の増加に貢献している。
8. 一方、食肉用動物及び動物製品、野菜、食品等の製品輸出は、インフレによる国内需要の増加を反映して減少した。繊維及び繊維製品輸出は、繊維協定 (MFA) の廃止に伴う割当て失効の影響で、2004 年以来マイナス成長が続いている。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799